

経営比較分析表（令和2年度決算）

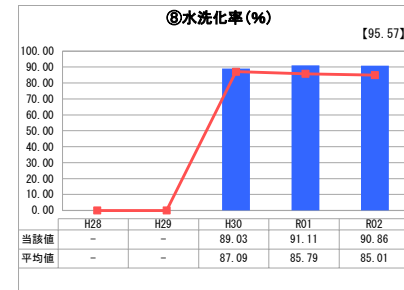
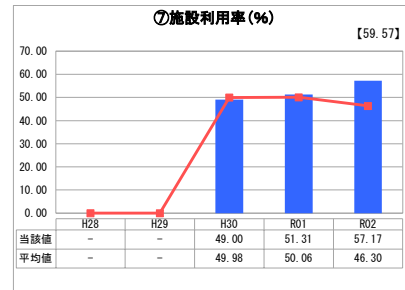
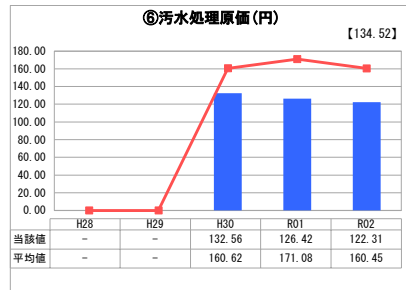
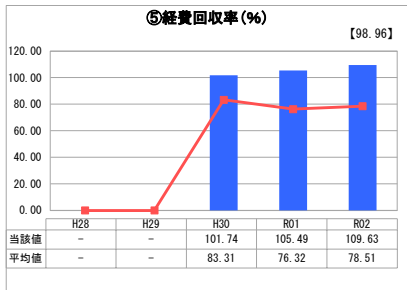
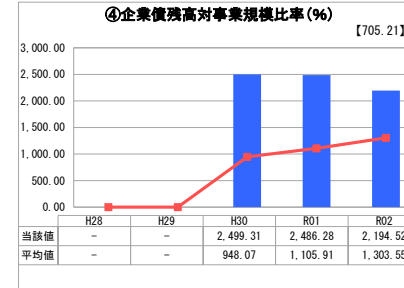
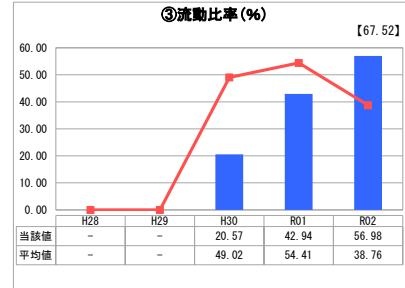
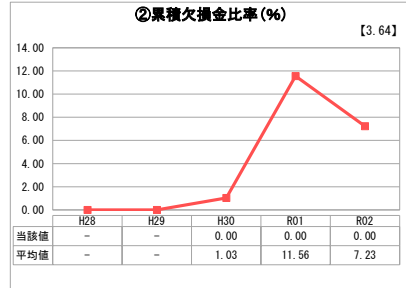
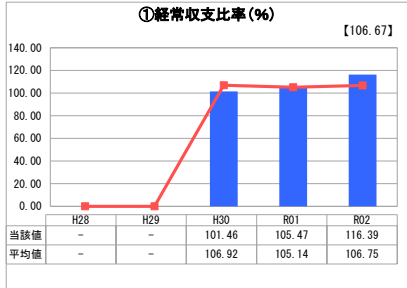
神奈川県 葉山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cb2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料(円)
-	68.53	70.56	88.77	2,244

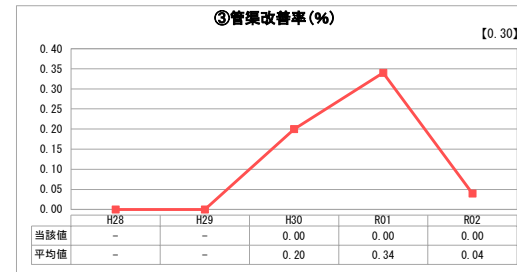
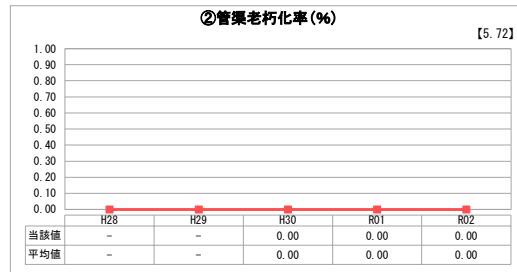
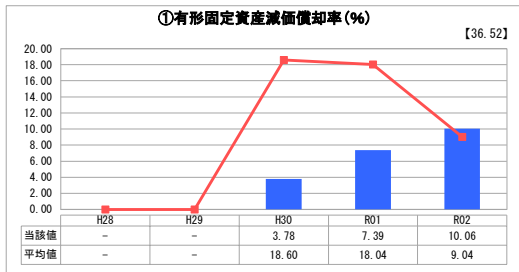
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,916	17.04	1,931.69
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
23,256	3.80	6,120.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 100%を超えており単年度収支は黒字となっておりますが、下水道使用料以外の収入に依存している状況であるため、下水道使用料収入の確保及び経費削減に努めていきます。
- 累積欠損金は発生していません。引き続き適正な事業運営に努めます。
- 100%に届いていない状況ですが、下水道管渠の新設整備等による普及率の向上に伴い、下水道使用料収入の増加により支払能力は向上しており、今後も高めていける見込みです。
- 企業債残高の低減傾向を継続させるため、新規借入額が返済額を上回らないよう計画的な建設投資及び下水道使用料の適正な水準への引き上げを行っていきます。
- 100%を超えており、良好な状態となっております。この状態を維持するため、中長期的な維持管理計画に基づく適正な事業運営に努めます。
- 類似団体平均より低い数値となっております。普及率の向上に伴う有収水量の増加により今後もこの傾向が続く見込みですが、有収水量の増加影響のほかに経営改善に向けて維持管理コストの削減に努めていきます。
- 100%に届いていないのは、普及率が100%未満の現状で施設処理能力に余力が生じているためであり、今後の普及率の向上に伴い増加していく見込みです。
- 類似団体平均を上回っていますが、さらなる向上に向けた取組みを進めていきます。

2. 老朽化の状況について

- 主な施設として管渠・ポンプ場・処理場を有していますが、供用開始が平成10年度のため、現状としては法定耐用年数を超過した資産の割合は少ない状況ですが、今後、進展する老朽化への対策として令和2年度に策定した葉山町下水道事業ストックマネジメント計画に基づき、各施設の計画的な改築・更新を進めていきます。
- ※法定耐用年数を超過した管渠延長なし
- ※改善(更新・改良・修繕)管渠延長なし

全体総括

現在、平成28年度から令和7年度までの10年間で市街化区域の下水道整備完了を目標として整備を進めているため、多額の建設事業費が必要です。平成30年度から管渠整備に官民連携事業を導入し経費低減を図るとともに、あらたに維持管理事業においても官民連携事業の導入検討による経費削減に努めます。供用開始が近年であるため、老朽化の兆候はまだ顕在化していないが、少子高齢化による人口減等から将来の下水道事業を取り巻く状況は一段と厳しくなることが見込まれます。今後は、令和2年度に策定した葉山町下水道事業ストックマネジメント計画に基づき、収入確保とコスト削減の両面における継続的な取組みを進めるとともに、経営成績や財政状態を明確にした計画的な事業運営に努めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。